



12月定例会

P2~3 村民インタビュー
明日を創る中・高生の考えは

P4~5 白熱 ざかい懇談会

など

雪の中の一斉放水

議会ひえづが
ご覧になれます



生の考えは ってどう!?

答えてくれた皆さん

高1	伊藤 ^{いとう} 悠生 ^{ゆうせい} さん	淀江町在住
高1	河村 ^{かわむら} 謙伸 ^{けんしん} さん	
中3	島崎 ^{しまざき} 陸翔 ^{りくしょう} さん	日吉津村在住
中3	山下 ^{やま} 遥大 ^{はるた} さん	
中3	松田 ^{まつだ} 麗央 ^{れお} さん	

ヴィレステ出会いストリートで自習する中・高生に
「日吉津村について」インタビューして来ました。

若者の視点を読者の皆さん、どう感じられますか。



**Q. ヴィレステでの
学習環境はどうですか**

河村さん 子どもた
ちが多い時はちよつと
うるさく思うけど、そ
れは理解してやってま
す。



河村 謙伸さん

伊藤さん 淀江に住
んでいますが、こうい
う場所がないので来さ
せてもらっています。

とても便利でいいで
すよ。

**Q. 将来について考
えている事はあるま
すか**

河村さん 今考えて
いるのは神戸に行く事
です。何度も行ってい
ますが、街の雰囲気
気に入っていて、大学
もあちらに行こうと考
えています。

伊藤さん ぼくは政
治に興味があつて、そ
ちらの道も考えていま
す。

箕中3年の男子生徒3人組を発見。顔出しは
NGで少々残念でしたが、貴重な意見をいた
だきました。

**Q. ヴィレステの居
ごこちや日吉津のい
いところは**

松田さん 家から近
くて友達と一緒に勉強
できるところかな。

島崎さん 日吉津の
いいところは、ショッ
ピングモールとか多く
あるし、人口が増えて
来ていると思う。

山下さん 友達が近
くにいる。

**Q. 日吉津にあれば
良いと思うことなど
ありますか**

松田さん 駅がほし
い。バスはほとんど乗
らないですし、自転車
でどこまでも行きます
よ。行く所によつて4
31号を通ったり、日

野橋を通つて米子に行
きます。

3人は小2、小3、
中1のころに日吉津
に引っ越して来られ
たんですね。

島崎さん 子育てし
やすい、環境が良いと
か親も考えたと思う。

松田さん 引っ越し
たいと言ったら日吉津
だった。

山下さん 前に住ん
でいた所より居ごこち
が良い。学童保育が他
より豪華だと思う。

**Q. 将来日吉津に帰っ
て来て、やってみたい
事などありますか**

島崎さん 帰つて来
たいし、村のままでい
てほしい。

明日を創る中・高 “日吉津”

突撃 インタビュー

河村さん 発展しすぎず、自然も残っている。今のところ、バランスが取れているように感じています。



伊藤 悠生さん

伊藤さん イオンもマックも、何でもあるし、行政も黒字なのはどうらやましい。日吉津だけズルく見えるかな。

Q. 今の日吉津村を見てどう思いますか

Q. これから村に必要だと思うものはありますか

河村さん 身近なところに体を動かせる公園があったら良いと思います。

伊藤さん 夜帰る時、暗いので車の多い所を通りがちになります。友達からは、伯耆大山駅から日吉津に来るのが不便だと聞いています。なんとかないですかねえ。

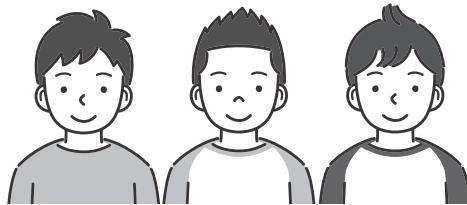


ヴィレステに集う若者たち

※第184号の村民インタビューで「ヴィレステ運営協議会」としていましたが、正しくは「ヴィレステ運営審議会」のまちがいでした。おわびして訂正します。

今回は中高生にインタビューし、率直な意見をいただきました。ありがとうございます。

仲良しの3人でした



島崎さん 山下さん 松田さん

快く答えてくれました

山下・松田さん 将来の事はまだわからないけど、国家資格はほしいと思う。

ヴィレステでは、多くの学生が自分達で静かで落ち着いた環境をつくり、学習に取り組んでいます。一人一人が目標をもって挑戦しようとする姿には、いつも感心させられます。自分の力を最大限のばそうとする姿、地域や仲間のために貢献しようとする姿、「僕たちに任せて下さい」と窓口で語る姿、若者達の自立、貢献の心に感謝する毎日です。



奥田和弘 教育長

教育長のコメント

懇談会

今年も11月8日から30日にわたり全自治会公民館で、多くの方に参加いただき開催しました。貴重なご意見やご提案をいただきました。一部を紹介させていただきます。

多くの意見をいただきました

議会に対して

- 現在の議員は全員60歳以上、限られた財源・税をどう使うかも若い世代に議論してほしい。
- ぎかい懇談会をヴィレステひえづで開催してみては。
- 議会の議案や課題、陳情などについて報告があるが、そこに至る議員間の議論も村民に見えるようにしてほしい。
- 今後の村の財政、税の負担や多額の予算をつぎ込む公園事業など議員がしっかり議論することが大切だ。
- 議員のなり手不足に対して議員報酬を上げて、定数を減らしてはどうか。

箕竈中学校について



自転車通学の中学生

- 中学校の組合立の廃止や業務委託などの問題は、経緯や現状説明をすること。

- 中学校の委託については慎重に進めるべき。
- 日吉津村で小中一貫校を作れば将来的にも良い。

海浜運動公園について

- 公園に金をかけるより、教育に力を入れた方が良い。

- 公園完成後、施設の維持管理などもよく考えて検討されたい。

- 公園再整備について工事車両の動きなど今吉自治会には説明をしてほしい。



工事中の海浜運動公園

旧うなばら荘について

- 現状について、村民に対してわかるように広報してほしい。

- 計画は実行されるのか、計画不履行時にはどんな罰則があるのか。ボイラーが使えない状態は、購入時確認されているのでは。

- 議会が企業から資料



現在の旧うなばら荘

- をもらい、内容について詰めることが必要ではないか。

- 温泉は村民に還元されるべきもので、今、村民福祉にどれだけ役に立っているのか。

社協・デイサービスセンターについて

- 施設を利用されている方に説明をしないまま、指定管理や業務委託がされている。詳細な経緯や今後はどうなるのか。

- 経営が変わってから利用者から困っている声を聞いているのか。

- 相談できる窓口はあるのか。

- 業界のことを議会も勉強して、行政に目を光らせてほしい。

- センターの防災対策をしっかりとしてほしい。

高規格道路について

- 日吉津村長として意見を全面に出してほしい。議会としてはどういう対応をしているのか。

- 村民としては、日吉津村を分断する高規格道路に疑問視する意見が多くある。

- 村内を走るのは商業施設で賑やかになった本村が、通過交通となりマイナスではないか。

- 日吉津村としてはそのルートについては、反対と表明することもある必要ではないか。

白熱 ぎかい

村づくり公社について



新鮮市場の空き店舗

● ひえづ物産や村づくり公社、物産館などの関係はどうなっているのか。

● 新鮮市場の空き店舗の利用や特産品開発などの詳細を確認したい

● 日吉津村の職員は特産品の開発にかかわっているのか。

農業問題について

● 「けい畔をとれ」「5反田んぼを作ろう」と言うだけで実行されない。日吉津村としてどうするのが重要。

● 若い人を雇い一年中

働けるような農業、年間ローテーションで採算性のあるシステムにすること。

● 村の農家に対する対策がない。海浜公園に多額の予算をつけながら、農家支援については変わらず、予算もない。



狭い田んぼ

役場について

● 住民票はコンビニで取得できるが、戸籍や印鑑証明など取れないのはなぜか。

● 家屋の火事跡や空き家や野良猫の対策を行

政で検討すること。

● 蚊屋島神社社務所側の大木が腐り、倒れる可能性がある。行政で対応できないか。

● 副村長やアドバイザーなどの費用対効果の説明がない。アンテナショップの周知をしてほしい。

● 固定資産税の税率1・6%は高い。税率を下げてほしい。

● 役場職員は村在住者ではない人も多く、「樽屋がどこにあるかも分からない」職員もいる。現地確認するなど対応を。



懇談会での様子

交通対策について

● 交通安全対策をしっかりと行い、危険個所の確認などを交通安全対策審議会でも行うこと。

● イオン誘致の際には周辺の交通協議があつ



懇談会での様子

た。富吉北地区は全体的な検討が不十分、村や議会がしっかりと検討してほしい。

● 今年度の除雪は431号北側店舗周辺なども含め、例年通りではなく的確に行うこと。



的確な除雪作業を

議会や行政へいただいた意見については、今後の議会活動に活用させていただきます。

気回復商品券

子育て応援

児童1人あたり 2万円



12月 定例会

議案第59号

《一般会計補正予算(第7回)》

5193万5千円増



議案第48号

〈企業版ふるさと納税
基本条例〉dポイントを活用で
きるようにする。

議案第49号・第50号

〈日吉津村乳児等通園
支援事業の設備及び運
営に関する基準を定め
る条例〉

12月定例会は、12月9日に開会、19日に閉会しました。議案は一般会計・国民健康保険特別会計など補正予算3件、条例設定・一部改正9件、陳情3件を審議し、その結果、継続審査1件、その他は可決しました。

議案第54号

〈日吉津村特定乳児等通
園支援事業の運営に関
する基準を定める条例〉
設備及び運営に関す
る基準を定める。

議案第51号

〈職員の勤務時間、休暇
等に関する条例の一部
改正〉
仕事と家庭生活の両
立支援を強化するため
の法改正に伴うもの。

議案第52号

〈職員の育児休業等に関
する条例の一部改正〉
育児休業法の改正に
伴うもの。

議案第53号

〈村税条例の一部改正〉
寄附金控除について、
法人の追加・削除する。

議案第54号

〈特別医療費助成条例の
一部改正〉
個人番号カードのオ
ンライン確認の開始に
伴う改正。

議案第55号

〈村被災者住宅再建等の
支援に関する条例の一
部改正〉
災害救助法の一部改
正に伴うもの。

議案第56号

〈村都市公園条例の一部
改正〉
海浜運動公園の施設
の利用料金等を設定、
改定。

議案第57号

《一般会計補正予算(第6回)》
2636万6千円

〔主な歳出〕

Q 小学校入学お
めでとうギフト
事業委託について詳し
く説明を。

A dポイントを
利用して子育て
を支援するもの。QR
コードで読み込みでき
るものを送付してもら
う。

Q 債務負担行為
について、海浜
運動公園の3年間の管
理委託料が、600万
円だが、年間200万
円では1人雇うには足
りないのでは。

A 現在の運営費
に、赤字分を加
えて、算出した。

議案第58号

《国民健康保険
補正予算(第2回)》高額療養費を254
万1千円増額。

第4回臨時会(11/27)

議案第44号

〈日吉津村職員の給与に
関する条例の一部改正
人事院勧告による、
職員給与及び勤勉手当
の引き上げ。〉

議案第45号

〈日吉津村会計年度任
用職員給与及び費用弁
償に関する条例の一部
改正〉
会計年度職員の給料
表の改定。

追加補正
5,193万5千円

第8弾

ひえづ元

物価対策 1人あたり 1万円

討論

議案第49号 日吉津村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

反対

江田 加代 議員

子育て支援の財源調達に医療保険制度を利用すべきではない。

議案第50号 日吉津村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

反対

江田 加代 議員

第49号の討論を以て、50号の反対討論とする。

● 賛否の分かれた議案（賛成：○ 反対：×）

※議長は賛否表明しない

議案番号	件 名	議決結果	斉田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第49号	日吉津村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第50号	日吉津村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

陳情の審査結果

12月議会では3件の陳情を審査しました。陳情第11号は継続審査となりました。

陳 情 第10号

「生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情」

【陳情者】 鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 安田 共子

委員長報告

討論なし

反対

加藤、長谷川、橋井、松田

本会議結果

採 択

賛成

江田、前田、石原、斉田、河中

採 択

陳 情 第12号

「衆議院の定数削減に反対する陳情」

【陳情者】 平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上 俊夫

委員長報告

反対討論

江田 加代 議員

選挙制度や議員定数は与党の独断で決めるべきものではない。

賛成討論

加藤 修 議員

議員の定数削減は当然だ。

反対

加藤、斉田、松田

賛成

江田、前田、石原、長谷川、橋井、河中

本会議結果

採 択

* 反対、賛成討論は委員長報告に対するもの。採決は陳情原案に対し採択、不採択とするもの。

県外視察

元気な地域商社や「夢と希望の教育」に学んだ

常任委員会ごとの県外視察、村づくりに活かすよう検討します

総務経済常任委員会

- 期 日 10月22日～24日
- 視察先 高知県日高村、徳島県板野町



【視察概要】

- 日高村は、地域おこし協力隊OBらが設立した地域商社「一般社団法人ノッソン」と連携しながら、地域課題の解決や地域活性化を図っている。ノッソンでは、「ふるさと納税委託事業」「関係人口創出事業」「地域人材マネジメント事業」などに取り組み、成果をあげていた。
- 板野町では、特産の春ニンジンなどを活かした6次産業化を推進し、直売所・農業支援研究室・レストランを併設した「道の駅いたの」で販売している。この道の駅は、防災拠点としても整備され、簡易ベッドや1万8千食の非常食などが備蓄されていた。さらに移動式水素ステーションやヘリポート、耐震性貯水槽なども完備されている。



▲ノッソンの女性メンバーを交えて（日高村）

教育民生常任委員会

- 期 日 11月10日～12日
- 視察先 兵庫県三木市・小野市、大阪府大阪市

【視察概要】

- 三木市は、移住定住を見すえ、平成20年「みきで愛（出会い）サポートセンター」を設置し、市民ボランティアの力を活かして100組以上のカップルを誕生させてきた。平成26年「縁結び課」を設置し、婚活のみならず、地方創生や移住定住など各課をヨコにつなげながら、意欲的に取り組まれていた。
- 小野市は、東北大学教授の川島隆太氏を教育行政顧問に委嘱し、脳科学の知見を活かし、出生時から脳（前頭前野）を鍛える「読み・書き・計算」を中心とした「夢と希望の教育」に、学校・地域・家庭で取り組まれていた。また「おの検定」という独自の学力検定を設けられていた。
- 大阪梅田のビルの一角に設置されたフリースクール「プレイ・キューブ」は、子どもの成長に役立つ遊具と環境を提供しているボーネルンド(社)が経営、子どもがやりたいことを納得いくまで探求させ、学びへつなげる取り組みがなされていた。



▲フリースクール「プレイ・キューブ」の説明を受ける

一般
質問

村政を

問う

① 不登校防止の取り組み
② 健康長寿の取り組みは



まつだ えいたろう
松田 悦郎 議員

P.11

① 財政状況・行財政改革について



かとう おさむ
加藤 修 議員

P.10

① 村内の道路網整備の状況は
② 公立義務教育学校の創設を



さいた てるゆき
斉田 光門 議員

P.13

① 村政への村民参画の場の確保を
② 海浜運動公園の再整備と運営について



まえだ のぼる
前田 昇 議員

P.12

私はここに注目

① ヴィレスステの通路に手すり
② 戦没者慰霊祭について



いしはら ひろあき
石原 浩明 議員

P.15

① 機構改革の現状とその成果は



かわなか ひろこ
河中 博子 議員

P.14

① 箕中の米子市委託は村民合意で



はしい みつよし
橋井 満義 議員

P.17

① 高齢者福祉の拡充を
② 国民健康保険税の引き下げを



えだ かよ
江田 加代 議員

P.16



加藤 修 議員

財政状況・行財政改革について

村長 新しい財源の掘り起こしをはかる



① 指定管理について行財政検討委員会に検討を求めたのか。
② 海浜エリア活性化計画の主な目的は。

③ 整備したエリアで村民の利用をどれくらいと見込んでいるのか。
④ 財政力指数は県下で3位、面積は一番小さいけれど一番豊かな村



▲工事がすすむキャンプ場



村長

① 行財政検討

委員会には、検討は求めている。しかし、第4次行財政改革プランを作るときに検討を

してもらっている。また、行財政推進委員会で行うなかで、点検

を行う。② 主な目的は、村民のにぎわいの場、気軽に集える憩いの場作りである。

公園整備では気軽に利用できる憩いの場、

とされているが、財政力指数が下がってきている。その要因と、どうすれば再浮上できるのか考えを問う。

利用者の増加により、にぎわい・村の活力につながるエリアにというコンセプトにしている。

③ 令和2年度のキャンプ場の利用状況では、村民利用が7%であった。より利用しやすいように、グランピングやオートキャンプサイトを整備し、キャンプ用品のレンタル等を行い、手ぶらキャンプができるようにする。

キャンプ場では、村民料金を設定し、より利用しやすい環境の整備を行う。

子育て拠点施設は、より幅広い年代に来ていただけるように、利



▲沈下した建物をかさ上げ

用料はいただかない。④ 新しい財源の掘り起こしを図るとともに、無駄のない財政運用に努める。

実質収支比率は、令和6年で7・2%でプラス。

経常収支比率は令和6年度が約81%。これは、毎年かかる物件費などが高騰しているためである。

公債費率は、令和6

年度で10%。25%を超えると早期健全化基準を超えてしまう。

将来負担率は、令和6年度1・4%。これは退職手当増の見込みがあるためである。

※早期健全化基準以上となった場合、早期健全化団体として自主的に財政の健全化を図る必要がある。



松田悦郎 議員

不登校防止の取り組みは

教育長 **子どもの学ぶ機会を確保したい**



▲どの児童・生徒も元気に登校したい

Q

文部科学省が公表した児童生徒の不登校調査結果が発表された。

県内では前年度より減少しているが、6年生が多いと報告されている。

村内でも起こりうる不登校の防止対策についてどうか。

A

教育長

全国・県の不

登校の実態の背景としては、学校以外で学習を認めた教育機会確保法で、子どもたちが安全と判断した場合、学校に行かなくても欠席扱いとならなかったコロナ禍の影響が指摘されている。

本村の不登校の出現率は、全国・県の半程度である。

本村の取り組みとし

ては、①福祉保健課との連携、②幼小小連携の充実、③教育支援センターぷらっとルームの設置、④スクールソーシャルワーカーの配置、⑤学習支援員の配置、⑥柔軟な教科担任制である。

しかし、児童や家庭のニーズは複雑化しており、現状の対応が最善かどうか、常に見直す必要がある。

今後も寄り添いながら子どもの学ぶ機会を確保したい。

健康長寿の取り組みは

村長 **フレイル予防を強化したい**

強化したい

Q

2月1日はフレイルの日である。社会性を維持し、フレイルの進行を防ぐために村として健康長寿支援の取り組みは。

A

村長

フレイルとは

加齢に伴い筋力など身体的部分や気力・活力の精神的部分が低下していく状態をいう。予防や治療を適切に行えば、健康の維持や回復が可能な状態である。

今後は、村包括支援センターと連携し、専門職による高齢者の健

健康管理と生活相談の機会を増やす。

まちの保健室で取り組んでいるニュースポーツや「まくれんカラダ体操」を身近な公民館で実施し、フレイル予防の取り組みを一層強化していきたい。



▲フレイル予防教室の皆さん



前田 昇 議員

村政への村民参画の場の確保を

村長 村民の意見を聞く場を設けたい

Q 現在の第7次総合計画はあまりに簡略化されている。5年ごとの中間見直しにあたり、村民参画の場をいかに確保するか。

A 村長

8月の地方創生推進会議にて総合計

Q 自治基本条例の6年生説明会

画についても検討いただいた。また球技大会の際、参加者に10年後の村について意見をいただいた。3月の答申までに村民に参画いただく場を設けたい。

A 村長

今年の6年生

で出された質問や意見は、村ホームページなどでも紹介し、子どもの参画が村の施策へつながるよう、取扱いを工夫されたい。

Q 自治基本条例には、役場の義務規定が数々定められている。職員は、実際の業務において条例をどう活かすか、実践的な研修の場が必要だ。

A 村長

令和4年に職員研修を行った。いろいろな際に立ち返るよう努めている。来年度は研修を計画したい。

Q 女共同参画計画の見直しについては、いかに。

村長

A 計画の素案を作成し、現在パブリックコメント中。その後審議会にて決定したい。

Q 海浜運動公園は、来年度、村直営から指定管理に変

海浜運動公園の再整備と運営について
村長 利用者のサービス向上を図りたい

更されるが、村民・利用者にはどういうメリットがあるのか。

村長

A 民間のノウハウを活かして、イベントや体験メニュー、PR活動が充実し、予約や支払いも利便性が高まるので、利用者へのサービスが向上する。

Q 管理棟がビジターセンターとして改修されつつある

村長

A 詳細は未定だが、村の情報発信、交流の場、レンタサイクルの運用など、必要なスタッフは常駐することになる。



▲管理棟はビジターセンターへ改修



▲説明会から村民参画の場へ



斉田光門 議員

村内の道路網整備の状況は

村長 道路の混雑状況など必要に応じ 交通対策を検討



▲混雑する日吉津交差点

Q

① 富吉北地区
計画が完成後の
交通網の問題点は。

事故や渋滞が発生して
いる。

② 国道431号、村道
1号線・2号線の交通
網の問題点は。

② 村道1号線と村道富
吉線の交差点、村道大
道北線の交差点で交通
事故が発生。国道43

③ 県事業、日野川右岸
道路の本年度の工事で
定や現状は。

1号線日吉津西交差点
並びに日吉津交差点で
右折車両が混雑してい
る。いずれも、県公安

④ 高規格道路の現状に
ついて。

委員会と対策について
協議している。

A

村長

① 令和7年3
月にカインズホームな
ど、地区計画区域の商
業施設全てが開店した。
交通量が増加し、交通

③ 令和7年度、工事の
予定はない。用地買収
及び用地測量業務を行
う。

事業完成は、令和10

年の予定が令和10年代
半ばとなる。

④ 国土交通省は東側・
西側・中央ルートを提
示した。住民説明会、
アンケート調査などの
意見を参考にルート対
案について検討される。

公立義務教育学校の
創設を

村長

義務教育学校は
考えていない

Q

① 現在の箕蚊
屋中学校生徒数
及び日吉津村在住生徒
の割合は。

在住生徒数は112人
(26%)である。

なり、義務教育学校は
考えていない。

② 令和6年度から箕蚊
屋中学校組合への負担
金額が、増額している
原因は。

② 令和6年度からの新
たな事業は、教育支援
センター運営、財務会
計システム、コミュニ
ティスクール導入、ト
イレ改修工事費や中学
校組合の事務負担割合
の見直しが増額の要因
である。

④ 箕蚊屋中学校の同じ
校区の子どもたち全員
が一緒に人間的にも成
長していくこと、学習を
しっかり行えることが
基本的な考え方である。
その上で米子市から
組合ではなく事務委託
方式に変える提案がさ
れている。事務負担の
軽減も含め事務委託は
一つの方法で、今後も
説明会を開催し皆様に
ご理解いただけるよう
説明していく。

③ 公立義務教育学校の
創設は。

③ 仮に本村で義務教育
学校を創設すれば、児
童生徒数370人前後、
23学級の規模となる。
新たな敷地、校舎など
相当な建設費が必要と

④ 中学校組合の問題を
村長はどう対応するか。

③ 仮に本村で義務教育
学校を創設すれば、児
童生徒数370人前後、
23学級の規模となる。
新たな敷地、校舎など
相当な建設費が必要と

A

村長

① 令和7年
度、箕蚊屋中学校生徒
は429人、日吉津村

相当な建設費が必要と

相当な建設費が必要と



▲村立義務教育学校の検討を



河中博子 議員

機構改革の現状とその成果は

村長 連携がスムーズになった

Q 村民に副村長は一体何をして

おられるのですかと聞かれる。役割と成果は。

A 村長 副村長という

役割は、具体的な成果が明確に表れる職務ではないと考えているが、

現状として、村長が出張等で不在の時など、業務が停滞することなく差配をし、役場業務を回してもらっている。

他にも、今年3月

オープン予定の新鮮市場内のアンテナ店舗・ひえづマルシェの準備も進めている。ここでは地域の産品を使ったソフトクリーム販売など、新たな取り組みに期待している。

Q 地方創生2.0の取り組みと現状は。

A 村長 国の地方創生交付金を活用して、海浜運動公園の再整備事業をしている。

また5月には、ひえづ村づくり公社を設立し、これも地方創生交付金を活用して、ふるさと納税にもつながっていくような特産品の開発、販路開拓などを進めている。

Q 総合政策課をなくし総務課に吸収した必要性は何か。

A 村長 ひえづ創生推進室と参画と協働の村づくり推進室は、それぞれが連携することで相乗効果がより認められると考えている。

これまでは2課に分かれていたために連携

がなかなかできない状況もあったが、今は一つの課の中でやるので、非常にスムーズになっていると考えている。

Q 今回の機構改革で人材育成が成果を上げているか。

A 村長 令和6年5月

に、従来の人材育成基本方針を改訂し、基本理念、果たすべき役割と必要な能力等を求め

られる職員像を掲げ、資質の向上、組織全体のレベルアップを目指している。

このたび機構改革を行い、課の中に室ができていくという状況ではあるが、室長になる人たちに力をつけていただきたいし、一緒に働く職員も、重要な業務を遂行していく中で、しっかりと力をつけていってほしいという思いで、取り組んでいる。



▲整備が進む海浜運動公園



▲より一層の人材育成を



石原浩明 議員

ヴィステテ通路に手すりを

村長 現時点では必要と判断していない



▲通路に手すりがあれば

Q

ヴィステテひえづは、開館10周年を迎え、村内外から多くの方に利用されているが、より利用しやすいように通路に手すりをつけてはどうか。

A

村長

ヴィステテに意見箱を設けているが、手すりがないために利用が困難であるという意見は届いていない。通路幅を確保しておきたいという現場の意

Q

見もあり、現時点で手すり設置が必要であるとは考えていない。今後利用者の様子を確認し、改めて検討していきたい。

A

村長

バリアフリー法が改正されたが、ヴィステテひえづを含め村内施設の点検はしているか。えづは、10年前の開館時に、各階に車いす用

トイレを設置し、駐車場に車いす専用スペースを2台分設けるなど、新基準を満たしている。他の施設についても点検はしている。

戦没者慰霊祭について

村長

今後も継続していく

Q

村の戦没者慰霊祭は、平和に

ついて考える貴重な機会として、続けていくべきと考えるが。

A

村長

村として、戦没者を慰霊するとともに、平和の大切さを後世に引き継いでいく主旨で開催しており、今後も継続していく。

出席者は減少傾向ではあるが、今後も、遺族会の意見を聞きながら、参加しやすい環境作りに努めたい。また小学生の平和学

Q

海浜運動公園にある戦没者慰霊碑の周知は。

A

村長

平成2年に、村の遺族会によって建てられたものである。遺族会によって管理されていることもあり、



▲慰霊祭により多くの参加者を

行政で積極的な周知は行っていない。

ただ一方で、多くの皆様にも知っていただき、今後も大切にしていくべきという思いは持っている。

現在制作中の「ふるさと読本」の中にも、戦時中の暮らしとともに、慰霊祭、平和展などについても取り上げている。



江田加代 議員

高齢者福祉の拡充を

村長 近隣の事業者と連携しながら

Q 第10期介護保険制度の改定に向けた話し合いが、国の社会保険審議会が進んでいる。

介護保険は見直しの度に悪くなっている。次の2点を求めます。

①介護サービスの利用抑制にならないよう、

広域連合や国に働きかけていただきたい。

②自動車の運転免許証返納後も外出を制限せず日常生活が過ごせるように、タクシー券の発行に加え、オンデマンドなど交通手段の導入ができないか。



▲村外のデイサービス利用

A 村長

この導入については、非常に大きな力がある。現時点では検討しないが、今後、合理的であったり、そういった手段が必要の人が増えたなら検討すべきかなと思う。

Q 日吉津村は介護保険事業を直接やっていないので、高齢者の実態が把握できなくなったのでは。

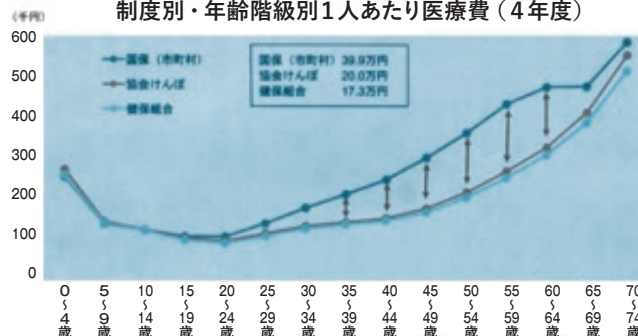
A 村長

高齢者の実態を把握することは大切であり、しなければならぬことだと思う。これからの時代は、村内で一つ介護サービス提供事業所をもって

国保の負担金は高い

	市町村国保	協会けんぽ	健保組合
加入者1人あたり 平均所得 (4年度)	96万円 1世帯あたり 143万円	175万円 1世帯あたり 279万円	245万円 1世帯あたり 418万円
保険料負担金	9.5%	7.2%	5.7%

制度別・年齢階級別1人あたり医療費(4年度)



国保新聞 2026.1.1号より

A 村長

国保税の算定の基になる、県への納付金の額には、医療費の額が関わってくる。今後も健康作りの取り組みを行い、できるだけ被保険者の負担増にならないような保険税設定に努力したい。

Q 国民健康保険税の引き下げを村長 負担増にならないように努力する

Q 自営業者、体調を悪くして離職された方、フリーランスの方、退職後の高齢者など収入の少ない方が多い。

高い国保税が暮らしを圧迫している。国保税の引き下げを求める。



橋井満義 議員

箕中の米子市委託は村民合意で

村長 村民意見をふまえて説明をつくす



▲どうする箕中

Q

箕蚊屋中学校が米子市日吉津村の組合立でなく、米子市立として運営する案が提案されている。

村としては米子市に経費を支出し委託するとしている。性急な事案で村民も困惑している。ここに至る経緯を明らかにされたい。
①時系列で経過を示せ。
②事務経費の算出根拠、

特に4・7人役についてどうなのか。
③組合立中学校とされている他の事例と比較検討されたのか。

④令和8年4月より米子市立にする計画のようだが、この案が履行されなければどのような状況になるのか。
⑤箕中のみならず、米子市内中学校全体に及ぼす影響を、生徒数割

A

村長

合等明示の上見解を求める。
⑥村民から出た意見をどう受け止め、対処されるのか所見を問う。

①令和4年に負担金の計算根拠が不明なため、令和5年11月に協議書内容の変更提案を受けた。令和6年度に入り5月から毎月協議を行い、米子市から4・2人役の人員費提案を受けた。協議の結果1・7人役とし、令和7年より計上した。8月に米子市から4・7人役の事務量調査の結果が示され、10月ごろに新年度に向けて委託の検討に入った。
②米子市の調査の結果であり、本村で厳密にはわからないが、一定の負担増があることは理解している。
③組合の解消例として、高知県宿毛市と愛媛県愛南町による篠山小・

中学校等、閉校の例はあるが本村同様の事例はない。
④中学校組合が解散するためには、双方の議会において議決しなければならぬ。
その後米子市、日吉津村双方が設立許可権者の県へ届け出る。その後、規約を調定し再度県へ届け出る。
これらが履行できなければ組合は解消されず、継続して協議を行うこととなる。

⑤米子市内の他の中学校に及ぼす影響はないと考えている。
⑥唐突な印象を持たれたことは、経緯や現状等の説明が不十分であったと認識している。中学校教育については何ら変わることはない。住民説明会でいただいた意見をふまえ、ていねいに説明し理解を求めたいと思う。

「中学校組合」が抱える課題

課題③ 財政負担の増

事務負担の増大に伴い、運営経費、財政負担も拡大

組合併任職員	4人役	→	約32,441(千円)
総務系経費	→	約1,500(千円)	

※令和8年度見込み

変更に関するQ&A

Q. 米子市へ中学校事務を委託する時の委託金の計算の方法は？

A. 中学校運営費から交付金（国などからもらうお金）などを除いた額を、米子市・日吉津村の生徒数で配分し、日吉津村の負担額を委託金とします。（今の計算方法と変わりません。）

Q. 箕蚊屋中学校の建物や土地やお金（財産）の取り扱い？

A. 次のような方法で引き継ぐよう、米子市と日吉津村で協議しています。

①米子市立となるので学校に関する土地、建物、物品、負債等は、全て米子市が引き継ぎます。

②財政調整基金（貯金）及び決算剰余金（残ったお金）は、生徒数で配分し、分配。

③公債費（借金返済）は経常経費であるため、従来どおり生徒数で配分して双方で負担する。

▲住民説明会資料（抜粋）

議会のうごき

県町村議会議員研修会

とき 11月28日(金)
ところ ハワイアロハホール

◇講義「地方議員のなり手不足の背景を考える」

講師 拓殖大学教授

河村 和徳氏

地方議会には、改革が求められている。また「見える化」が信頼醸成のために求められている。

◇講義「住民が求める地方議会・期待される地方議会とは何か」

講師

地方公共団体政策支援機構理事

渡辺 大樹氏

議会の目的は、住民福祉の向上や地域の発達を求めることである。現状把握・

課題の認識から始

めることが大切である。



王子製紙との研修会

とき 12月19日(金)
ところ 日吉津村役場会議室

米子工場の現況や環境対策について聞きました。

木質由来のエタノールを製造するための世界初のパイロットプラントが完成し、運用を始めています。製造面やコスト面など課題の洗い出しが行われます。

木質由来のエタノールは、化石資源に代わる新たなエネルギー資源として期待されています。

二十歳を祝う会

とき 1月3日(土)
ところ ヴィレステホール

旧「成人式」から数えて78回目の「二十歳を祝う会」は、35名の方が参加して開催され、議長もあいさつを述べました。前日までの雪が残る日でしたが、久しぶりに出会う同級生や担任の先生と思ひ出話に花が咲いていました。

会場にはご家族の姿も多くみられ、二十歳の門出を祝っておられました。今年も中学生サークル制作のフォトスポットが会場を盛り上げていました。



編集後記

去年は、海浜運動公園の再整備、村のデイサービスセンターの指定管理、社会福祉センターの改装など大きな変化が始まった年でした。村の説明会が何回か開催され、村民の意見が反映される機会となりました。

議会もより一層皆様へ情報をお伝えできるように努めていきたいと思えます。

— 石原 記 —

次回の定例会は
3月です



表紙 消防出初め式

【議会広報広聴常任委員会】

石原 浩明・斉田 光門
橋井 満義・江田 加代
前田 昇